

事業区分
金銭給付

平成27年度 事務事業評価シート

事務事業名	スポーツ少年団助成				所管	教育委員会		
						青少年・スポーツ課		
事務事業の概要	事業の開始・終了年度		[事業開始]	平成 1 3 年度	[終了予定]	- 年度		
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区社会教育関係団体青少年スポーツ振興事業補助金交付要綱				
	事業対象	台東区スポーツ少年団						
	事業目的	スポーツ少年団活動を通じて、青少年の協調性や思いやりなどの豊かな情操を養い、心身の健全育成を図る。						
	事業内容	スポーツ活動を通じて、青少年の心身の健全育成を図ることを目的とした、台東区スポーツ少年団の事業について必要経費の一部を補助金として交付する。 (初心者スポーツ教室 320,000円 台東区・大崎市姉妹都市スポーツ交流少年団大会 300,000円)						
	委託の有無	なし	委託内容					
	補助金の有無	なし						
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	24年度	25年度	26年度	
	活動指標	助成件数	件数	1	1	1	1	
		成果指標	登録者数	人	350	364	362	304
	決算額 (単位:千円)				720	274	620	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			801	787	850	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			0	0	0	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			720	274	620	
		総経費			1,521	1,061	1,470	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
一般財源(区負担額)			1,521	1,061	1,470			
前回評価から改善した事項	減少傾向にある団員の新たな確保に向け、全小学校に団員募集ポスターの掲示とチラシの配布を実施した。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	スポーツを通じた青少年の教育の場であり、かつ豊かな情操を養うことに寄与する本活動へのニーズは高い。					
	効率性	3	平成25年度から増加した経費は、平成26年度が姉妹都市(大崎市)交流年に該当したためであり、コストや効率性について大きな変化はない。					
	手段の適切性	3	社会教育委員会議での審査を経て、補助金交付決定を行っている。また、実績報告に基づき精算を行っており、手続きも適正である。					
	目的達成度	3	区と連携し子供むけのスポーツひろば事業などを実施し、区内の青少年の体力向上や健全育成に役立っている。					
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性			
スポーツ少年団には登録していないがスポーツを行っている子供達は数多くいる。団員減少に歯止めをかけるため、周知方法の改善等により、スポーツ少年団に登録してもらうための対策を講じていく。					改善 拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			